



天草中だより

『自己への挑戦』と『他への貢献』

平成30年度 第3号

平成30年6月20日(水)

文責 岡田 真治

天草郡市中体連夏季大会～全力を尽くし完全燃焼を！！

6月23日(土)、24日(日)に天草郡市中体連夏季大会が行われます。応援を宜しく御願いたします。

野球部は1回戦、対五和中学校で、9:30から上天草松島運動公園(アロマ)で行われます。女子バスケットボール部は1回戦、対龍ヶ岳中学校で、9:30から上天草大矢野総合体育館で行われます。そして、男女ソフトテニス部は団体戦がそれぞれ、対栖本中、対姫戸中で、8:50の開会式に引き続き、上天草市松島総合運動公園テニスコート(アロマ)にて行われます。(男子は第2試合から10:00頃)3年生にとっては最後の大会。これまで一所懸命頑張ってきた総決算です。仲間を信じて最後まで全力で頑張ってください。『きついときが勝負』です。こういった経験を乗り越えながら成長するのだと思います。目指せ完全燃焼。健闘を祈ります。

先輩ありがとう！～唐田真歩先生教育実習お疲れ様でした

5月28日～6月15日まで、本校の卒業生である唐田先生が教育実習に来て下さいました。教科は国語で、一生懸命、誠実かつ真摯な姿勢で取り組んでいただきました。最終日に天草中の印象や、後輩たちへのメッセージを伺いました。

Q 天草中の印象はどうでしたか？

A 一番驚いたことは、何事にも一生懸命にまっすぐ取り組む姿勢です。授業でも大きな声で発言したり、学校生活の中では立ち止まってあいさつを行ってくれたり、生徒の姿に私もたくさんのパワーをいただきました。こんなに明るくて素直な生徒は他にいないと思います。私の中でナンバーワンの生徒たちです。

Q 後輩たちへのメッセージ

A 3週間という貴重な時間を一緒に過ごさせていただき本当にありがとうございました。3週間のうちに大変だなと思うことは何度もありましたが、みんなの姿を見ているとそんなことを忘れさせてくれるぐらいのパワーと勇気をもらいました。私にとって幸せな大切な思い出ができました。どんな壁にぶつかっても天中生のみんななら絶対に乗り越えていけると信じています。天中で過ごせることを誇りに、周りにいる友人を大切に、これからもみんならしく頑張ってください。3週間本当にありがとうございました。

Q 最後に一言。「人生とは」！語って下さい。(*^ ^*)

A 挑戦と失敗の繰り返しだと思います。一度やっとうまくいく人なんてそうそういません。「チャレンジする」その勇気がとても大事です。挑戦と失敗を繰り返しながら人は成長していくのだと思います。一緒に頑張りましょう。唐田先生。本当にありがとうございました。



集団宿泊教室 ～友だちの新しい面(良いところ)を発見しよう～



5月31日(木)～6月1日(金)に松島の熊本県立天草青年の家で第1学年の集団宿泊教室が行われました。初日は天気が心配でしたが、なんとか予定どおり、すべての活動を実施することができました。1日目のオリエンテーリングやキャンドルの集い、2日目のペーロンや西目逆コースハイキングなど、楽しく活動することができました。

この教室では、①心身の鍛錬②友情を深める③自然に親しむを目標に、「友だちの新しい面を発見しよう」をテーマにして、事前学習から班で協力して準備をしてきました。仲間と協力して活動することなど、とてもよくできました。自然の中でのびのびと、自分の力に挑戦し、友だちを助けながら充実した活動ができました。体育大会から集団宿泊教室と大きな行事が続きましたが、よく頑張ってくれました。これらの経験を通して学んだことは、きっとこれからの学校生活に生かせるはずです。

生徒総会 ～夢実現のための授業～

各委員会では「プラスワン」をテーマに昨年度とは異なる新たな取り組みを行っていき、何をして新たな取り組みとして行うのか、各委員会の年間計画に沿っての説明がありました。



新たな取り組みの一つとして模擬授業の実施がありました。生徒会では「夢実現のための学力向上」を目指す授業の受け方について検討を続けており、今回の生徒総会では生徒会執行部や委員長が模擬授業を実施し、学力向上のために、目標とすべき授業の受け方を提案しました。大きな声で発表すること、話を聞くときには相手の方を見て、うなずくなど反応を示しながら聞くことなどを確認しながら取り組んでいくことが確認されました。

また、来年度を見据えて、委員会統合の提案がなされました。

来年度、生徒数が更に減少することから、委員会数を減らす必要があり、今回の生徒総会で、来年度は保健委員会と環境委員会を統合し、保健・環境委員会、生活委員会と体育委員会を統合し生活・体育委員会になることが決まりました。



7月の行事予定	
1日	月
2日	月
3日	火
4日	水
5日	木
6日	金
7日	土
8日	日
9日	月
10日	火
11日	水
12日	木
13日	金
14日	土
15日	日
16日	月
17日	火
18日	水
19日	木
20日	金
21日	土
22日	日
23日	月
24日	火
25日	水
26日	木
27日	金
28日	土
29日	日
30日	月
31日	火
人権週間(～14日)あいさつ運動	
3年福祉体験	
天草っ子チャレンジ(ノーテレビ・ノーゲーム運動)	
家庭教育学級 学年懇談	
読書週間(～22日)	
あいさつ運動 生徒朝会	
地区生徒会	
海の日	
高校説明会	
生徒議会	
いるか号	
終業式 大掃除 職員会議 あいさつ運動	
県中体連大会	
県中体連大会	
夏季休業日	
夏季休業日	
夏季休業日	
夏季休業日 市内教職員研修	
夏季休業日	
夏季休業日	
夏季休業日	
夏季休業日	



～今回は裏面に集団宿泊教室での生徒の感想作文を掲載しています。学校では給食だより、保健だより、図書だよりなどの通信を配布しています。これから折を見てご紹介できたらと考えています。

『大海原の上で』 下釜ゆりのさん

「いーち、にーい、きーん」「いーち、にーい、きーん」大きな掛け声が海に響きわたります。この掛け声は天草中の白団の船から聞こえてきます。声がそろえばかいのタイミングもそろいます。赤のライフジャケットを着て必死にこぐ姿は光っています。「ストップ声がそろってないよ。」「もう一回、やってみよう。」「せーの!」「いーち、にーい、きーん」声がそろってきたようです。かいをこぐ時間が長いから、船にもスピードが出てきました。どんどん赤団の船に追いつきます。並んだ。並んだ。追い越したー。

白団の船からはとても大きな掛け声が聞こえてきます。はやる気持ちを抑えて、どんどん漕ぎます。目的地の砂浜が見えたところで最後500mとなりました。

そこからレースが始まります。静かな海には波の音しか聞こえません。「位置について。よーい」笛の音が鳴りました。両団とも大きな掛け声とともに船が進みます。いつになく大きい掛け声が響いていました。その声には絶対に勝つぞという思いをを込めました。赤団9人白団8人という不利な状況でしたが、一生懸命漕ぎました。あと少し。あと少し。「ピー。」笛が鳴りました。どちらが勝ったのでしょうか。アナウンスが鳴ります。



「ただ今のレース勝ったのは…」ドクン。ドクン。心臓が鳴ります。「ただ今のレース勝ったのは、赤団です。」赤団の船からは大きな喜びの声が聞こえてきます。一方、白団の船からは拍手しか聞こえてきません。悔しい顔をしたみんなが砂浜を見えています。



私はペーロンを皆で漕いだことで協力しても思うような結果が出ないこともあるけど、達成感を味わえることを学びました。これからは何事にも本気で挑みたいと思いました。

『学校生活を見直すことができた!』 黒沢 睦 くん



僕が、集団宿泊教室で一番心に残ったことは夕べの集いの時間です。学校紹介の時に「立ち止まって挨拶」や「正門一礼」のことを発表しました。しかし、青年の家に来たら立ち止まって挨拶をあまりしていなかったのので反省しました。ここで、自分たちがいつもしていることを学校以外で、できていないと本当の力ではないと思いました。外でできるからこそ自分の力になってくると思います。そこから、「挨拶せんば!」と声かけがやっとなできるようになりました。これからは、いつもしていることは、いつでもどこでもできるようにみんなと声をかけ合い、意識して生活したいです。また、来年の一年生のお手本になれるように頑張ります。今回の集団宿泊は、日頃の学校生活のことを振り返る機会にもなりました。



『きつい先には……』 池田 晴士郎 くん

「あと少し!」僕は、青年の家の人に言われた瞬間ほっとした。頂上に着くまであと少しだ。そして、ようやく頂上に着いた。僕は、到着したときはとても疲れていたが、とても涼しい風が吹いていた。そんな山登りだった。頂上では満足感でいっぱいだった。頂上から見る景色は素晴らしかった。そこからは、僕達が泊まっていた、青色の家が見えた。僕は、「ヤッホー」と思わず叫んだ。疲れも吹き飛んだ。みんなで最後まで頂上まで登り切ったのは、とてもいい思い出だった。帰るときには、みんな「疲れたね。」「また登りたいね。」と言いながら山を下りて行った。そして天草青年の家に誰一人欠けることなく着いた。みんなケガもすることなく最後まで楽しく山登りをすることができた。

今回の山登りで、みんながいて、きついことも楽しめることや、きつい先の向こうには、うれしき達成感が待っているということを学んだ。



